

平成27年度 事業報告書

社会福祉法人 幸寿会

特別養護老人ホーム清風苑（長期入所）
特別養護老人ホーム清風苑（短期入所）
深谷市デイサービスセンター清風苑
清風苑在宅介護支援センター
グループホームすずかけ
生計困難者に対する相談支援事業

〒369-1105

埼玉県深谷市本田 4915 番地 1

TEL 048 - 583 - 5555

FAX 048 - 583 - 7257

E-mail seifuuen@cello.ocn.jp

URL <http://seifuuen.com/>

*** 目 次 ***

はじめに・運営の理念・事業方針	2
平成27年度の主な庶務事項	3
特別養護老人ホーム清風苑 (介護老人福祉施設) (介護予防)短期入所生活介護 総評、業務目標、各会議・委員会報告、研修・会議の参加状況、 研修・実習受け入れ、ボランティア受け入れ、年間行事、業務報告、 利用者状況	8
深谷市デイサービスセンター清風苑 (介護予防)通所介護 総評、業務目標、各会議・委員会報告、研修・会議の参加状況、 研修・実習受け入れ、ボランティア受け入れ、年間行事、業務報告、 利用者状況	18
清風苑在宅介護支援センター (居宅介護支援事業者) 深谷市在宅介護支援センター清風苑 (在宅介護支援センター) 総評、業務目標、各会議・委員会報告、研修・会議の参加状況、 業務報告、利用者状況	24
グループホームすずかけ 総評、業務目標、各会議・委員会報告、研修・会議の参加状況、 研修・実習受け入れ、ボランティア受け入れ、年間行事、業務報告、 利用者状況	28
生計困難者に対する相談支援事業 総評、相談状況、研修・会議の参加状況	34
事務 総評、業務目標、研修・会議の参加状況	36
給食 総評、業務目標、研修・会議の参加状況	37

はじめに

2025年（平成37年）に団塊の世代が75歳以上となり、世界でも類をみない超高齢社会と同時に認知症高齢者も増加すると想定されるなか、約30年後の2045年には65歳以上人口が今より1000万人増えてピークを迎えるといわれています。また人口減少もすでに始まり、政府は一億総活躍社会の実現を掲げています。そうしたなか、平成27年度からはじまった第6期介護保険事業計画は、高齢者を社会全体で支える仕組みとして、可能な限り住み慣れた地域で自立した日常生活を営むことができるよう、“医療”“介護”“予防”“住まい”“生活支援サービス”を切れ目なく提供する「地域包括ケアシステム」の構築をめざすために位置付けられています。平成27年4月改正の介護報酬もこれにあわせられ、中重度の要介護者や認知症高齢者への対応強化や介護人材確保対策の推進、サービス評価の適正化と効率的サービス提供体制の構築というもとに、賃金・物価の状況、介護事業者の経営状況等をふまえて全体で2.27%となりました。その内訳は、中重度の要介護者や認知症高齢者への対応強化に+0.56%、職員処遇改善+1.65%とされるも、その他で4.48%というものでした。また、社会福祉法人の経営組織や内部留保に対する検討が行なわれ、平成28年4月1日から社会福祉法の一部を改正する法律が施行となりました。

国の福祉施策を担ってきた社会福祉法人は時代の流れとともに役割が変化し、今回このギャップを解消しようということなのでしょうが、いよいよこれまで職員意識の「気持ち」だけでは、通用しない社会になったということです。

さて、平成27年度をふりかえりますと、高齢者施設での事件事故や低賃金等の報道による介護職員のマイナスイメージが続き、求人活動はサービスの質を守るために常となりました。介護報酬マイナス改定にも対応すべく、費用対効果の向上として給食委託業者変更、新電力会社移行、紙おむつ化などを実施しました。多額の支出ではデイサービスの土地と建物を深谷市から購入移管し、空調や備品の更新をおこない、経営の安定化と環境改善を実施しました。このほか、マイナンバー制度の準備、自己負担2割の対応、介護予防・日常生活支援総合事業の対応などを行ないました。

東日本大震災から5年が経過するなか、4月14日発生した熊本地震による被災者の方々にお見舞いを申し上げるとともに、社会福祉制度改革をあわせて、当法人の地域での役割を問い、それを担う努力を続けていくことが使命であると考えています。

運営の理念

「私たち職員は利用者の尊厳を守り

気づきの姿勢により一人ひとりの望まれる生活を大切にし

地域福祉の向上のため貢献します」

～幸寿会のこころ

- 一、利用者に明るく接し、“安心”される介護をします
- 二、介護と看護の技術を磨き“安全”な生活を守ります
- 三、地域と連携し高齢者福祉の“発展”に努めます
- 四、職員が協力し“信頼”される幸寿会を築きます

事業方針

- 一、人命人権を尊重した業務の研鑽を行う
- 二、日常業務の改善と地域ニーズを考えた事業を展開する
- 三、環境に配慮した業務改善を行なう
- 四、職員教育とチームワークを充実する（言葉、接遇、技術）
- 五、働きやすい職場作りと待遇改善に努める

平成 27 年度の主な庶務事項

- 27. 4. 1 辞令交付式
- 4. 1 市有財産譲与契約締結(通所：深谷市)
- 4. 1 土地売買契約書締結(通所：深谷市)
- 4. 1 施設賠償責任保険更新(あいおい損害保険㈱)
- 4. 1 退職手当共済H26年度掛け金納付対象職員提出 11名(福祉医療機構)
- 4. 1 建物火災・地震保険(苑・支援：あいおい損害保険㈱)
- 4. 1 建物火災保険契約締結(デイ：あいおい損害保険㈱)
- 4. 1 掃除・洗濯・夜間施設管理請負契約締結(清風苑：深谷市シルバー)
- 4. 1 夜間施設管理請負契約締結(清風苑：寄居町シルバー)
- 4. 1 広報「清風」第17号発行
- 4. 1 登録喀痰吸引等事業者(登録特定行為事業者)変更登録届出書提出
- 4. 3 認知症対応型共同生活介護事業所利用状況調査書提出(大里広域)
- 4. 6 認知症対応型共同生活介護管理者変更届提出(大里広域)
- 4. 3 認知症対応型共同生活介護事業所利用状況調査書提出(大里広域)
- 4. 5 すすかけ運営推進会議
- 4. 6 介護給付費算定に係る体制等に関する届出書提出
(介護報酬改定、介護職員処遇改善加算)(特養：北部福祉)
- 4. 6 介護給付費算定に係る体制等に関する届出書提出
(介護報酬改定、介護職員処遇改善加算)(短期：北部福祉)
- 4. 6 介護給付費算定に係る体制等に関する届出書提出(介護報酬改定、介護職員処遇改善加算、サービス提供体制強化加算、中重度者ケア体制加算)(デイ：北部福祉)
- 4. 6 介護給付費算定に係る体制等に関する届出書提出
(介護報酬改定、特定事業所加算)(支援：北部福祉)
- 4. 6 介護給付費算定に係る体制等に関する届出書提出(サービス提供体制強化加算)
(すすかけ：大里広域)
- 4. 9 保温食器購入(清風苑：東海興商： 円)
- 4.11 誘導灯交換(清風苑：㈱吉田電気工事： 円)
- 4.13 介護職員処遇改善加算届出書提出(すすかけ：大里広域)
- 4.13 介護職員処遇改善加算変更届提出(すすかけ：大里広域)
- 4.14 介護職員処遇改善加算届出書提出(特養、短期、デイ：北部福祉)
- 4.14 介護職員処遇改善加算変更届提出(特養、短期、デイ：北部福祉)
- 4.14 建物外周砕石敷き込み工事(すすかけ：㈱久保田工業： 円)
- 4.10 特別養護老人ホームの入所希望者に係る調査回答(県高齢介護課)
- 4.14 介護職員処遇改善加算届出書提出(特養、短期、デイ：北部福祉)
- 4.14 介護職員処遇改善加算変更届提出(特養、短期、デイ：北部福祉)
- 4.15 全国老人ホーム基礎調査(デイ)回答(全国老人福祉施設協議会)
- 4.16 障害者雇用に関するアンケート回答(ハローワーク熊谷)
- 4.21 給湯暖房用ボイラー定期点検実施(アイム㈱)
- 4.22 自動分包機購入(清風苑：㈱栗原医療器械： 円)
- 4.27 老人福祉施設指導台帳提出(県監査課)
- 4.28 ベントキャップ交換(清風苑：寄居建設： 円)
- 4.29 エアコン洗浄(清風苑食堂、新館：㈱カネエイ： 円)
- 5. 1 カーテン保守契約締結(清風苑、デイ：㈱キングラン商事)
- 5. 1 社会福祉施設従事者相互保険更新手続(福祉振興・試験センター)
- 5.13 冷暖房切替(清風苑：(有)ヤジマメンテナンス)
- 5.14 監事会開催
- 5.16 医務室電気温水器更新(清風苑：(有)ヤジマメンテナンス： 円)

- 5.17 厨房他の害虫駆除実施(清風苑・デイ・すずかけ:(株)ビルワーク)
- 5.17 自家用電気工作物の年次検査実施(日本電気保安サービス協会)
- 5.20 消防設備等(総合:清風苑)(機能:デイ・すずかけ)定期点検実施(株)ビルワーク)
- 5.20 軽自動車税減免申請(深谷市:26.6.12 減免決定通知)
- 5.20 デイサービス土地・建物登記(法務局)
- 5.21 通所介護事業所が実施する夜間宿泊サービス調査票提出(デイ:県高齢者福祉)
- 5.23 平成28年度新規採用職員求人票送付
(特養:埼玉福祉専門、大泉福祉専門、関東福祉専門、かな福祉専門)
- 5.23 第50回評議員会(経理規程改正、事業報告、決算報告、デイサービス移管、
デイサービス空調設備更新、評議員・理事・監事の改選)
- 5.23 第103回理事会(経理規程改正、事業報告、決算報告、デイサービス移管、
デイサービス空調設備更新、評議員・理事・監事の改選)
- 5.25 自動車税減免申請(埼玉県自動車県税事務所:27.9.18 県税減免通知)
- 5.26 ウッドデッキ塗装工事(すずかけ:(株)久保田工業: 円)
- 5.26 資産の変更登記申請完了(さいたま地方法務局)
- 5.26 公益法人の収支計算書(平成26年度)の提出書提出(熊谷税務署)
- 5.27 介護福祉機器等助成アンケート調査票提出(特養:県労働局)
- 6.1 地下タンクA重油槽定期加圧漏えい検査及び清掃実施(エネクス石油販売東日本(株))
- 6.2 厨房換気扇洗浄(清風苑:(株)カネエイ: 円)
- 6.5 特定給食施設変更提出(栄養士変更)(清風苑・デイ:熊谷保健所)
- 6.6 埼玉県社会福祉事業共助会総会委任状提出52名(埼玉県社会福祉事業共助会)
- 6.8 労働保険概算確定保険料申告書提出(熊谷労基署)
- 6.9 最低賃金に関する基礎調査提出(デイ:厚生労働省)
- 6.10 利用者健診(特養・すずかけ:深谷大里郡メヂカルセンター)
- 6.12 社会福祉法人現況報告書・監事報告書提出(深谷市)
- 6.16 自動車保険更新(富士火災海上保険(株): 円)
- 6.17 総合防災訓練(全事業)深谷市消防本部立合指導
- 6.23 浴槽水の水質検査(清風苑・デイ:(株)熊谷環境分析センター)
- 6.26 社会福祉法人役員変更届提出(深谷市)
- 6.27 すずかけ運営推進会議
- 7.7 認知症対応型共同生活介護事業所利用状況調査書提出(大里広域)
- 7.8 高齢者雇用状況報告書提出(ハローワーク熊谷)
- 7.10 土地取引状況調査票(法人:国土交通省)
- 7.13~31 職員定期健康診断
- 7.13 登録喀痰吸引等事業者(登録特定行為事業者)変更登録届出書提出
(清風苑:県高齢介護課)
- 7.15 健康保険厚生年金保険被保険者賞与支払届決定通知受理(日本年金機構)
- 7.15 書類保管庫購入(すずかけ:(有)ソリッドネーム: 円)
- 7.18 デイサービス空調設備の改修指名競争入札
- 7.18 第51回評議員会(運営状況報告、職員人事、デイサービス空調設備更新、
給食業務委託、定款変更、資産登記完了報告)
- 7.18 第104回理事会(運営状況報告、職員人事、デイサービス空調設備更新、
給食業務委託、定款変更、資産登記完了報告)
- 7.18 役員合同暑気払い会(埼玉グランドホテル深谷)
- 7.22 賃金構造基本統計調査(デイ:厚生労働省)
- 7.22 火災通報設備連動変更工事(特養:(株)ビルワーク: 円)
- 7.22 火災通報設備連動変更工事(すずかけ:(株)ビルワーク: 円)
- 7.24 パソコン、プリンター更新(すずかけ:大塚商会: 円)
- 7.24 経済的援助を伴う総合相談事業の実施状況提出(法人:東京社協)
- 7.27 平成26年度介護職員処遇改善加算実績報告書提出

(特養・短期・デイ：県北部福祉事務所)

- 7.27 平成 26 年度介護職員処遇改善加算実績報告書提出(すずかけ：大里広域)
- 7.27 定期健康診断報告書提出(清風苑入所者：熊谷保健所)
- 7.28 特定給食施設等栄養管理状況報告書提出(清風苑・デイ：熊谷保健所)
- 7.28 社会福祉法人現況報告書、監査報告書提出(深谷市福祉政策課)
- 7.29 社会福祉法人定款変更許可申請書提出(深谷市 許可日 7.31)
- 7.31 厨房用地下排水ポンプ交換(特養：(有)ヤジマメンテナンス： 円)
- 7.31 給湯暖房用ボイラー定期点検実施(アイム株)
- 8. 1 広報「清風」第 18 号発行
- 8. 3 保存食更新(東京都葛飾福祉工場： 円)
- 8. 5 健康保険厚生年金保険被保険者報酬月額算定基礎届決定通知受理(日本年金機構)
- 8. 6 福祉避難所の状況調査回答(深谷市長寿福祉課)
- 8. 7 転倒骨折事故報告書提出(すずかけ：大里広域、深谷市)
- 8. 7 転倒骨折事故再発防止策報告書提出(すずかけ：大里広域、深谷市)
- 8.10 大型洗濯機修理(特養：株宮商： 円)
- 8.12 平成 27 年度事業収支状況調査提出(法人：全国経営協)
- 8.25 デイサービス空調設備の改修工事請負契約書締結(株吉田電気工事： 円)
- 8.25 デイサービス空調設備の改修共同募金助成事業契約内容報告書提出(共同募金会)
- 8.27 介護サービス事業所等に係る自己シート提出(すずかけ：大里広域)
- 9. 1 共助会標準報酬基礎届提出(埼玉県社会福祉事業共助会)
- 9. 7 平成 27 年度埼玉県就労実態調査提出(デイ：県産業労働部)
- 9.12 第 52 回評議員会(給食業務委託、高額取引業者の選定、デイサービス空調設備更新、社会福祉法人改革)
- 9.12 第 105 回理事会(給食業務委託、高額取引業者の選定、デイサービス空調設備更新、社会福祉法人改革)
- 9.18 滅菌器修理(特養：株栗原医療器械店： 円)
- 9.18 すずかけ運営推進会議
- 9.18 介護給付費算定に係る体制等に関する届出書提出
(特定事業所加算変更)(支援：北部福祉)
- 9.20 建物火災保険契約(すずかけ：JA 共済 円)
- 9.26 雇用実態調査票(すずかけ：全国労働保険事務組合)
- 9.28 介護老人福祉施設平成 26 年度収支状況等調査回答(全国老人福祉施設協議会)
- 9.30 社会福祉施設指導監査(特養、通所：県福祉監査課)
- 10. 1 認知症対応型共同生活介護事業所利用状況調査書提出(大里広域)
- 10.10
- 10.25~29 デイサービス空調設備の改修工事(株吉田電気工事： 円)
- 10. 9 食品衛生監視指導・立入検査(特養：熊谷保健所)
- 10. 9 介護支援専門員人数減変更届(支援：北部福祉)
- 10.14 特定給食施設変更届(栄養士変更)(清風苑・デイ：熊谷保健所)
- 10.19 平成 27 年介護サービス施設・事業所調査回答(すずかけ：厚労省)
- 10.19 平成 27 年介護サービス施設・事業所調査回答(デイ：厚労省)
- 10.19 平成 27 年介護サービス施設・事業所調査回答(特養、短期、支援：厚労省)
- 10.19 平成 27 年介護老人福祉施設票回答(特養：厚労省)
- 10.28 転落骨折事故報告書提出(特養：北部福祉・深谷市)
- 10.28 転落骨折事故再発防止策報告書提出(特養：北部福祉・深谷市)
- 10.30 すずかけ運営推進会議
- 11. 5 介護給付費算定に係る体制等に関する届出書提出
(栄養マネジメント加算)(特養：北部福祉)
- 11. 5 運営規程変更届(デイ：北部福祉)

- 11. 5 運営規程変更届(特養：北部福祉)
- 11. 5 運営規程変更届(短期：北部福祉)
- 11. 5 訪問看護ステーション設置及び訪問看護事業に係る調査票(法人：県保険医療部)
- 11. 5~6 植木剪定(特養、デイ：深谷市シルバー人材： 円)
- 11. 9 運営規程変更届(すずかけ：大里広域)
- 11.13 給湯暖房用ボイラー定期点検実施(アイム㈱)
- 11.16 外部評価(すずかけ：大里広域)
- 11.16 浄化槽定期清掃実施(小嶋衛生社)
- 11.19 特別養護老人ホームの収支構造の実態調査提出(特養：厚生労働省労健局)
- 11.20 パネルヒーター用バルブ修理(特養：ヤジマメンテナンス： 円)
- 11.22 厨房他の害虫駆除実施(清風苑・デイ・すずかけ：㈱ビルワーク)
- 11.25 職員定期健康診断(深谷大里郡メヂカルセンター)
- 12. 1 広報「清風」第 19 号発行
- 12. 4 専用区画変更届(特養：北部福祉)
- 12. 4 専用区画変更届(短期：北部福祉)
- 12. 5 特別養護老人ホーム等の施設及び配置医師の状況等について回答
(特養：県保健医療部)
- 12. 5 法人の広報活動に関する調査提出(法人：全国経営協)
- 12. 6 受水槽定期清掃(清風苑・㈱ビルワーク)
- 12. 7 デイサービス空調設備の改修共同募金交付申請書提出(共同募金会)
- 12. 9 医務室廊下エアコン修理(特養：ヤジマメンテナンス： 円)
- 12. 9 冷凍冷蔵庫購入(特養：㈱トータルサポート：307,800 円)
- 12.10 介護サービスの情報の公表報告(特養、短期、デイ、居宅介護支援、
認知症対応型共同生活介護)
- 12.12 職員忘年会(栄寿司)
- 12.12 すずかけ運営推進会議
- 12.12 すずかけ運営推進会議
- 12.16 平成 27 年度介護事業者実態調査(介護従事者処遇状況等調査)
(法人：厚生労働省老健局)
- 12.17 平成 27 年度介護報酬改定に伴う施設・事業所運営に係る影響等調査提出
(特養・短期・デイ：県高齢福祉課)
- 12.20 受水槽定期清掃(デイ：㈱ビルワーク)
- 12.22 健康保険厚生年金被保険者賞与支払届決定通知受理(日本年金機構)
- 12.25 埼玉県介護職員等永年勤続表彰の回答(法人：県高齢介護課)
- 28.1. 6 外部評価目標達成計画書提出(すずかけ：大里広域)
- 1. 7 認知症対応型共同生活介護事業所利用状況調査書提出(大里広域)
- 1. 9 厨房ドア錠取替(特養：ヤジマメンテナンス： 円)
- 1.12 デイサービス空調設備の改修共同募金助成事業支払完了報告書提出(共同募金会)
- 1.12 医師・歯科医師・薬剤師及び保健師等医療従事者届出提出(熊谷保健所)
- 1.16~17 木の伐採(特養、デイ：中島材木店： 円)
- 1.21 浄化槽法定検査実施(埼玉県浄化槽協会)
- 1.29 除雪機購入(デイ：笠原鉄工所： 円)
- 1.31 配管補修工事(デイ：㈱アクアテック： 円)
- 2. 1 定期健康診断報告書提出(法人全体：熊谷保健所)
- 2. 8 簡易専用水道管理検査実施(埼玉県環境検査研究協会)
- 2.12 介護職員処遇改善加算届出書提出(特養、短期、デイ：北部福祉)
- 2.12 介護職員処遇改善加算届出書提出(すずかけ：大里広域)
- 2.15 給湯器修理(デイ：パーパス志木サービス： 円)
- 2.19 離設事故報告書提出(すずかけ：大里広域、深谷市)
- 2.24 給湯暖房用ボイラー定期点検実施(アイム㈱)

- 2.25 すずかけ運営推進会議
- 2.25 防災訓練(すずかけ)
- 2.26 事務所エアコン修理(特養：ヤジマメンテナンス： 円)
- 2.26 離設事故再発防止策報告書提出(すずかけ：大里広域、深谷市)
- 2.26 骨折事故報告書提出(特養：北部福祉・深谷市)
- 2.26 骨折事故再発防止策報告書提出(特養：北部福祉・深谷市)
- 3.10 運営規程変更届(デイ：北部福祉)
- 3.17 介護給付費算定に係る体制等に関する届出書提出(サービス提供体制加算 口)
(短期：北部福祉)
- 3.17 介護給付費算定に係る体制等に関する届出書提出(サービス提供体制強化加算 口)
(すずかけ：大里広域)
- 3.21 施設整備に要した費用調査提出(法人：全国経営協)
- 3.23 受水槽オーバー管修理(特養：久保田工業： 円)
- 3.24 特別浴槽ストレッチャー修理(特養：酒井医療(株)： 円)
- 3.26 第 53 回評議員会(規則・規程の変更、規程の制定、補正予算、事業計画、予算、高
額取引業者の選定、社会福祉法人制度改革)
- 3.26 第 105 回理事会(規則・規程の変更、規程の制定、補正予算、事業計画、予算、高
額取引業者の選定、社会福祉法人制度改革)
- 3.28 3 6 協定届、就業規則変更届(熊谷労基署)
- 3.28 椅子更新(デイ：(株)ヘルスケア上武： 円)

特別養護老人ホーム清風苑
(介護老人福祉施設)
((介護予防)短期入所生活介護)

1. 総評

入所者要件が要介護3以上、看取りケアの加算要件の追加、特養の役割が具体化し、課題の多い一年となりました。「気づき」の姿勢で寄り添った支援を行う事を目標に日々歩んできましたが、看取りケアカンファレンスの導入により、心理的に寄り添うことだけでなく、介護技術と一体的に支援できること、心と技が一致していることの重要性を痛感しました。

その中で、今年度実施した認知症ケアの勉強会は、日常の中で、利用者の気持ちを理解し、安心できる声掛け～全部署対応で抑制しない環境作りの定着に繋がり、利用者だけでなく、ご家族のニーズにも応えられる体制作りが出来ました。医療的ケアの勉強会は経管対応等に活かされています。平均介護度も比較的高く、経管栄養利用者の受け入れ、褥瘡ゼロ、拘束しない環境作りに取り組んできた清風苑には、一定の技術がある事を再確認できた一年でもありました。来年度は、日々取り組んでいる支援にやりがいを感じ、新たな課題に前向きに取り組むチーム作りを進めていきます。

2. 業務目標、各会議・各委員会報告

『チームワークで気づきの支援』

1. 「気づき」の姿勢で寄り添った支援を行います。

特別なことが無くても、日常過ごされる様子をケア記録に残すことが定着し、利用者状況について職員間の話題も広がり、経緯を踏まえた声掛けを行えるようになりました。また、認知症ケア勉強会をテーマ別に3チームに分かれて、職員を講師として実施し、利用者の安心につながる言葉掛けを意識して支援することが出来ました。

2. チームワークで明るく安全な生活の場を提供します。

ケース担当は、必要に応じて速やかにケアの見直しを行い、変更が周知されるよう日常的に情報共有を心掛けることを目標にしましたが、利用者のニーズを支援に活かせない状況がありました。引き続き、次年度の課題として取り組んでいきます。

【事故防止委員会】

事故・ヒヤリハット報告書から、個別の服薬マニュアルを作成し、声掛けを行う事で、事故件数を減らすことが出来ました。利用者の生活状況に応じたセンサーの使用も開始し、不要なコールをなくすことが出来ました。平成28年度は継続のための取り組みを課題に活動していきます。身体拘束廃止への取り組みは、拘束時間を短縮するなど、本人に負担の少ない解除方法で対応できました。見守り困難な利用者の利用も増えていますが、職種間で協力する体制が定着したことで拘束せずに支援を継続することができました。

【広報委員会】

広報誌の定期発行(清風苑ニュース：毎月)(清風：年3回)を継続し、施設活動や生活の様子を紹介しました。

【環境整備委員会】

各エリアが整理整頓されている状態を保つことが出来ず、利用者の生活環境という意識を継続して持ち続けることが出来ませんでした。引き続き、次年度の課題として取り組んでいきます。

【ショートステイ】

アセスメントシートの見直しが遅れ、利用者のニーズを統一した支援として活かせない状況がありました。家族の意向など、都度発信することは心掛け、速やかに対応することが出来ました。

3. 研修・会議の参加状況（参加日・研修会議名（主催：参加者））

27. 4.24 「緊急時対応・浴室における事故」（施設内研修：参加者19名）
 5.11～12 「中堅職員キャリアパス研修」（埼玉県社会福祉協議会： ）
 5.13 「メンタルヘルス推進者養成研修」（埼玉県社会福祉協議会： ）
 5.18～20 「チームリーダーキャリアパス研修」
 （埼玉県社会福祉協議会： 、 、 ）
 5.22 特養集団指導（県福祉監査課： ）
 5.29 事故防止研修（施設内研修：17名）
 6.15～17 「初任者キャリアパス研修」（埼玉県社会福祉協議会： ）
 6.22～23 「中堅職員キャリアパス研修」（埼玉県社会福祉協議会： ）
 6.26 「感染症基礎研修」（埼玉県社会福祉協議会： ）
 6.26 食中毒について（施設内研修：参加者20名）
 7.13～15 「初任者キャリアパス研修」（埼玉県社会福祉協議会： ）
 7.17 「接遇推進者養成研修」（埼玉県社会福祉協議会： ）
 7.28 「医療的ケア教員講習会」（ニッソーネット： ）
 7.30 「児玉・大里合同研修会」（児玉地域老人福祉施設運営協議会： ）
 7.31 「褥瘡予防と対策について」（施設内研修：参加者14名）
 8.28 「認知症ケア」（施設内研修：参加者14名）
 9. 7 「介護現場における人材育成について」（埼玉県老人福祉施設協議会： ）
 9. 9 「高齢者施設における看護師の役割」（埼玉県老人福祉施設協議会： ）
 9.24 「福祉施設におけるリスクマネジメント」（埼玉県社会福祉事業共助会： ）
 9.25 ノロウィルス・認知症ケア・身体拘束廃止（施設内研修：15名）
 10. 3 「介護福祉士実習指導者講習会」（埼玉県老人福祉施設協議会： ）
 10.21 「高齢者施設・介護保険施設等職員向け感染症研修会」
 （埼玉県熊谷保健所： ）
 10.30 「再発防止から学ぶ」（施設内研修：14名）
 11.18 「栄養ケアマネジメント」「インフルエンザ感染症」（施設内研修：14名）
 11.27 ターミナルケアについて（施設内研修：16名）
 11.30 「認知症の基礎～認知症ケアのための理解と対応」
 （フラワーヴィラ： 、 、 ）
 12.27 「認知症ケア」（施設内研修：17名）
 28. 1.29 事故防止研修（施設内研修：15名）
 2.15 「チームケアにおける介護視線専門員の役割～入所から看取りまで」
 （埼玉県老人福祉施設協議会： ）
 2.26 高齢者虐待防止研修（施設内研修：14名）

4. 研修・実習者受け入れ

実習期間	研修・実習者	人数	日数
合計		0人	0日

5 . ボランティア受け入れ

月	団体		個人		合計		主要活動団体 敬称略
	延件数	延人数	延件数	延人数	延件数	延人数	
4	2	23	1	3	3	26	【深谷市】 川本中学校
5	2	43	1	3	3	46	川本南保育園
6	0	0	2	5	2	5	住山理容所
7	2	15	1	3	3	18	大正琴
8	2	7	1	3	3	10	いなほ会
9	1	12	1	3	2	15	彩の国中学生
10	1	2	1	3	2	5	ふれあい介護 童謡わらべ歌声教室
11	0	0	1	3	1	3	八幡神社
12	1	14	2	4	3	18	彩の国ボランティア 体験プログラム
1	0	0	1	3	1	3	コーラスさくらそう
2	0	0	1	3	1	3	ハーモニカ宅急便
3	0	0	1	3	1	3	ともちゃんバンド
合計	11	116	14	39	25	155	

6. 年間行事 ()は参加者数

月	内 容
4	お花見会 (52) 日帰り旅行：いちご狩り (8) 誕生会 (74)
5	開園記念日：5/1 (73) 食事外出：アリオ (4) 日帰り旅行：埼玉伝統工芸会館 (6) 出前：栄寿司 (3) 南保育園交流会 (78) 誕生会 (62)
6	食事外出：やぶ久 (2) デザート外出：館乃 (2) 散歩・食事外出：農林公園・あらやま (2) 買い物外出：アリオ (4) 誕生会 (65)
7	七夕会 (63) 日帰り旅行：川本町内ドライブ・農林公園 (5) 買い物・食事外出：ピアゴ・館乃 (4) 誕生会 (60)
8	深谷市花火大会見学 (荒天中止) 夏祭り・誕生会 (67) 食事外出：館乃 (4) 清風苑花火大会 (雨天中止)
9	長寿をお祝いする会 (117) 誕生会 (57)
10	饅頭作り (25) 日帰り外出：深谷市ピクタートル (2) 誕生会 (55) 福祉の心を育む懇話会：幡羅小学校 (4) 福祉の市 (6)
11	やきいも (25) 日帰り旅行：サファリパーク (11) 福祉の心を育む懇話会：川本南小学校 (4) 誕生会 (56)
12	餅つき・忘年会 (59) 誕生会・クリスマス会 (55)
1	初詣 (15) 新年会・誕生会 (47)
2	節分 (46) 誕生会 (48)
3	ひなまつり (64) 誕生会 (66) 日帰り旅行：森林公園 (6)
毎月	誕生会

7. 業務報告

月	内 容
4	特養会議 特養運営会議 事故防止委員会 喀痰吸引安全対策会議 給食会議 入所検討委員会 広報委員会 ショート受入会議 環境整備委員会
5	特養会議 特養運営会議 事故防止委員会 喀痰吸引安全対策会議 給食会議 広報委員会 ケース会議
6	特養会議 特養運営会議 事故防止委員会 喀痰吸引安全対策会議 給食会議 入所検討委員会 広報委員会 ショート受入会議 総合防災訓練（地域・地震・避難・消火）
7	特養会議 特養運営会議 事故防止委員会 喀痰吸引安全対策会議 給食会議 広報委員会 ケース会議 業務改善委員会 ショート受入会議 環境整備委員会
8	特養会議 特養運営会議 事故防止委員会 喀痰吸引安全対策会議 給食会 議 入所検討委員会 広報委員会 ショート受入会議 サブリーダー会議
9	特養会議 特養運営会議 事故防止委員会 喀痰吸引安全対策会議 給食会 議 入所検討委員会 広報委員会 ケース会議 サブリーダー会議
10	特養会議 特養運営会議 事故防止委員会 喀痰吸引安全対策会議 給食会 議 入所検討委員会 広報委員会 サブリーダー会議
11	特養会議 特養運営会議 事故防止委員会 喀痰吸引安全対策会議 給食会 議 入所検討委員会 広報委員会 ケース会議 ショート受入会議 サブリー ダー会議
12	特養会議 特養運営会議 事故防止委員会 喀痰吸引安全対策会議 給食会 議 広報委員会 ショート受入会議 夜間通報訓練 BCP メール訓練
1	特養会議 特養運営会議 事故防止委員会 喀痰吸引安全対策会議 給食会議 入所検討委員会 広報委員会 ケース会議 サブリーダー会議
2	特養会議 事故防止委員会 喀痰吸引安全対策会議 給食会議 入所検討委 員会 広報委員会 業務改善委員会 ショート受入会議
3	特養会議 事故防止委員会 喀痰吸引安全対策会議 給食会議 入所検討委員会 広報委員会 ショート受入会議 ケース会議

8. 利用者状況

(1) 利用者定員及び現在員状況 () は再掲：緊急措置入居

定員 50名 現在員 49名 (男性 12名 女性 37名)

(2) 利用者年齢別状況 () は再掲：緊急措置入居

年齢	60 ~64	65 ~69	70 ~74	75 ~79	80 ~84	85 ~89	90 ~94	95 ~99	100 ~104	計
男性	0	2	2	1	4	2	1	0	0	12
女性	2	2	2	3	3	8	13	3	1	37
計	2	4	4	4	7	10	14	3	1	49

*最高年齢 男性 89歳9ヶ月 *最若年齢 男性 66歳3ヶ月 *平均年齢 男性 79歳6ヶ月
 女性 103歳4ヶ月 女性 62歳6ヶ月 女性 85歳4ヶ月
 総平均 84歳0ヶ月

(3) 利用期間 (平成28年4月1日現在)

利用期間	男	女	計	利用期間	男	女	計
6ヵ月未満	2	5	7	9年~10年未満	0	0	0
6ヵ月~1年未満	0	5	5	10年~11年未満	0	0	0
1年~2年未満	4	9	13	11年~12年未満	0	0	0
2年~3年未満	1	3	4	12年~13年未満	0	0	0
3年~4年未満	1	7	8	13年~15年未満	0	0	0
4年~5年未満	0	3	3	15年~17年未満	1	0	1
5年~6年未満	2	1	3	17年~19年未満	0	0	0
6年~7年未満	1	1	2	19年~21年未満	0	0	0
7年~8年未満	0	1	1				
8年~9年未満	0	2	2	合計	12	37	49

最短利用期間 2ヵ月間

最長利用期間 16年6ヵ月間

平均利用期間 3年1ヵ月間

(4) 要介護度 (平成28年4月1日現在)

*平均介護度 4.1

要介護区分	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	計
男性	0	2	3	3	4	12
女性	0	3	8	10	16	37
計	0	5	11	13	20	49

(5) 入所申込状況 (入所検討委員会) ()は見直し

	A	B	C	D	計
平成27年4月	0	0	1	0	1
5月	1	0	0	0	1
6月	0	2	0	0	2
8月	1(1)	0(4)	1(3)	0	2(8)
9月	0	0	1	0	1
10月	2	1(1)	2	0	5(1)
11月	0	0	1	0	1
平成28年1月	0	1	2	0	3
2月	0	0	1	0	1
3月	1	2	0	0	3
合計	5(1)	6(5)	9(3)	0	20(9)
28年4月1日待機者	5	11	13	0	29

(6) 月別利用者状況 ()は再掲：緊急措置入居 年間利用率 98.3%

月区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
月初日利用者数(在籍)A	50	48	50	50	48	50	49	50	50	49	50	49	
月中新利用者数B	0	2	1	0	2	0	1	0	1	1	0	1	9
月中退所者数C	2	0	1	2	0	1	0	0	2	0	1	1	10
月中入院者数D	1	1	0	0	0	2	2	1	1	1	1	3	13
月末入院者数E	1	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1	3	10
月末日利用者数(実数)F=A+B-C	48	50	50	48	50	49	50	50	49	50	49	49	
延べ利用者数	1,460	1,500	1,483	1,522	1,522	1,476	1,505	1,500	1,511	1,535	1,441	1,528	17,983

(7) 市町村別入退所者状況 ()は再掲：緊急措置入居 (平成28年4月1日現在)

市町村	平成28年4月1日			平成27年度			入院・入所・退所状況
	男	女	計	入院延数	入所者数	退所者数	
深谷市	4	15	19	165	10	11	(入) 4/23、5/23 5/29、8/22 10/2、10/11 10/30 10/31 12/30、1/16 (退) 4/5、4/18、 7/4、10/4 10/7、10/14 12/2、12/6 12/17、2/20 3/24 (院) 4/27 - 5/24 9/16 - 10/7 10/22 - 10/24 12/6 - 12/6 1/3 - 3/19 2/4 - 2/16 3/3 - 3/17 3/4 - 3/28 3/23~
熊谷市	0	2	2	75	1	1	(入) 8/8 (退) 4/19日 (院) 11/16 - 1/29
寄居町	0	3	3	2	0	3	(退) 6/8 6/26 9/6 (院) 9/3 - 9/4
嵐山町	0	1	1	0	0	1	(退) 7/30
小川町	0	1	1	0	1	0	(入) 3/16
栃木県 芳賀町	1	0	1	0	1	0	(入) 12/5
計	5	22	27	242	13	16	

(8) 利用者の身体状況 (平成28年4月1日現在)

日常生活動作等

介助項目区分	自立	一部	全介	利用者状況						
移動介助	11	20	18	使用機種	車イス31名、リフト9名、歩行器4名					
食事介助	30	6	13	食事場所	食堂42名、居室7名(内、経管者4名)					
排泄介助	6	22	21	おむつ 使用者数	人数	定時	随時			
				常時の者	19	4回	8回以上			
				夜間のみ者	10	2回	4回以上			
入浴介助	1	23	25	使用浴槽	一般浴6名・器械浴30名・リフト浴13名					
着替介助	9	16	24	毎日着替	要介助2名、自力0名					
体位交換介助	14	15	20	介助者の 状況	人数	定時	随時			
				褥瘡者	1	11回	11回以上			
				その他	17	11回				
障害老人の日 常生活自立度	自立	J1	J2	A1	A2	B1	B2	C1	C2	
	0	0	2	8	5	6	20	0	8	

精神状況等

精神項目区分	人数	原因疾患・認知度数								
意思疎通不能者数	4	原因疾患	機能的障害6名、精神的障害37名							
認知性老人者数	43	認知症度数	重度21名、中度17名、軽度11名							
認知症老人の日 常生活自立度	自立		a	b	a	b		M		
	3	2	1	5	21	8	9	0		

(9) 常食給与栄養摂取量 (1人平均)

種目	エネルギー kcal	タンパク質 g	脂肪 g	カルシウム mg	鉄 mg	レチノール ug	ビタミン B1 mg	ビタミン B2 mg	ビタミン C mg	塩分 g
1日必要 摂取量	1550	42.0	43.0	520	5.0	470	0.85	0.95	85	8.0
4月	1483	57.7	37.4	613	10.0	623	1.24	1.03	121	8.6
5月	1495	54.9	40.0	598	9.7	583	1.27	0.99	103	8.8
6月	1504	55.6	40.1	599	10.0	582	1.27	1.03	136	9.0
7月	1502	57.1	40.0	612	9.9	627	1.23	1.05	100	8.8
8月	1503	55.5	40.2	626	10.0	605	1.30	1.04	101	9.1
9月	1527	57.0	39.6	599	10.1	557	1.26	1.04	136	9.0
10月	1503	58.3	38.6	441	7.4	617	0.80	0.77	119	9.2
11月	1485	57.6	37.0	458	7.4	613	0.76	0.79	105	8.9
平均	1550	56.8	39.2	569	9.4	601	1.15	0.97	116	8.9
1日必要 摂取量	1598	52.4	37.0	662	6.3	690	0.98	1.20	100	7.3
12月	1552	56.3	39.6	556	10.9	741	1.23	1.00	89	8.7
1月	1521	56.0	38.1	542	10.8	838	1.21	1.00	87	8.3
2月	1517	56.3	37.6	531	14.0	701	1.25	0.97	92	8.7
3月	1514	53.7	32.8	522	9.2	665	1.14	0.89	92	8.0
平均	1526	55.6	37.1	538	11.3	737	1.21	1.00	90	8.5

(10) 短期入所生活介護事業実績 : () は予防介護の再掲 * 1日平均利用率 8.2人

区	深谷市		小川町		寄居町		熊谷市 栃木県芳賀町		合 計	
	延人数	延日数	延人数	延日数	延人数	延日数	延人数	延日数	延人数	延日数
4	19 (1)	131 (4)	5	38	3	33	2	15	29 (1)	217 (4)
5	19	158	5	37	3	35	3	50	30	280
6	14	136	4	35	4	43	3	18	25	232
7	14 (1)	134 (2)	5	39	3	38	1	25	23 (1)	236 (2)
8	18 (2)	188 (7)	5	36	3	36	1	7	27 (2)	267 (7)
9	17 (1)	169 (6)	3	21	2	33	2	23	24 (1)	246 (6)
10	18 (1)	172 (4)	4	35	3	47	2	35	27 (1)	289 (4)
11	13	133	5	47	4	56	2	36	24	272
12	15 (1)	158 (2)	5	45	5	42	1	4	26 (1)	249 (2)
1	19	128	6	47	4	42	1	3	30	220
2	16 (1)	115 (2)	5	55	5	43	1	6	27 (1)	219 (2)
3	13	161	5	57	4	39	1	6	23	263
計	195 (8)	1,783 (27)	57	492	43	487	20	228	315 (8)	2,990 (27)

深谷市デイサービスセンター清風苑 （（介護予防）通所介護）

1. 総評

居宅介護支援事業所の月1回の訪問も定着し、居宅との連携が図れるようになってまいりました。その甲斐あってか新規利用者の紹介も、各居宅介護支援事業所より依頼が増えていきました。特に年度後半辺りでは、利用登録者も30名を満たす曜日も増え始めました。しかし、長期入院や体調不良による欠席等で、登録者に反した形で利用率は伸び悩む結果となりました。このような状況に備え、不定期でも利用できる方、待機をされている方の一時的な利用など、空いた枠の有効活用が必要であると感じました。

処遇においては、クラブ活動に変わる取り組みとして「個別ケア」の導入がなされました。身体的なサポートとして体操、マップ運動、セラバンド、趣味や余暇をサポートする農業、お化粧、工作活動など幅広く行う事ができました。マップ運動においては、万歩計の計数を気にかけてながらより多くの歩行機会を提供できたため、「家でもひとりでトイレが出来る」や「家の中の移動が続けられる」などの声が多く聞かれ、在宅生活を続けられるサポートが出来たのではないかと感じています。

平成27年度に行われた実地指導では、個別援助計画の一連の流れにおいてモニタリングとアセスメントについての指導が行われました。こちらに関しては、早急に対応をし、現在アセスメントから評価までの流れが確立出来るようになりました。

また、昨年同様満足度調査を実施し、細かい意見やご希望も伺うことが出来ました。これらを検証し、平成28年度への取り組みに反映させたいと考えました。

3月から開始された介護予防日常生活支援総合事業については、居宅介護支援事業との連携を図り、対象となる要支援の方に対し、大きな混乱なく移行をすることができました。

2. 業務目標、各会議・各委員会報告

(1) 業務目標報告

「在宅生活をサポート！！～住み慣れた我が家でいつまでも～」

個別ケアにおいては、上記の取り組みにおいて、身体的サポートでは良い反応が多くみられました。また、農業活動においてはジャガイモ、サツマイモ、ブロッコリー、白菜、芽キャベツ、春菊、チンゲンサイなど季節に応じた多種多様な野菜を栽培・収穫しました。農業経験者が多い地域のため、培ってきた知識や経験を活かせる活動であったと思います。

(2) 各会議報告（デイサービス会議・ケース会議）

デイサービス会議においては、計画書の確認、行事の検討を含め、積極的な話し合いが通年実施できました。

ケース会議においては、アセスメントに基づいた利用者の真のニーズに沿った検討がなされました。通所プランの作成の根拠なども、各職員が理解を深め、業務に従事するようになりました。

(3) 委員会報告

安全対策委員会では、送迎時の安全運転10か条の遵守状況の確認や、事故報告及びヒヤリハットの内容検証を行いました。

業務向上委員会では、個別ケア導入後の職員タイムスケジュールの検証を重ね、利用者の方に還元できる職員体制作りに努めました。

3. 研修・会議の参加状況（参加日・研修会議名（主催：参加者）

27. 4.27 安全運転管理者研修（埼玉県公安委員会：
 5.21 集団指導（埼玉県福祉監査課： ）
 7.30 児玉・大里合同研修会（埼玉県老人福祉施設協議会： ）
 28. 1.20 1.21 1.22 1.26 1.27 2.4 2.18
 認知症介護実践者研修（埼玉県： ）

4. 研修・実習受け入れ

実習期間	研修・実習者	人数	延日数
12/10	川本中学校社会体験チャレンジ	3	3
合計		3	3

5. ボランティア受け入れ

月	団体		個人		合計		活動団体 敬称略	
	延件数	延人数	延件数	延人数	延件数	延人数		
4	1	4	0	0	1	4	【団体】 朗読クラブひまわり ブルーアイランダーズ ピリ辛兄弟 尺八演奏会 童謡わらべ歌教室 八木節の会	
5	1	4	0	0	1	4		
6	1	4	1	1	2	5		
7	1	4	0	0	1	4		
8	1	4	0	0	1	4		
9	4	15	1	1	5	16		
10	1	4	0	0	1	4		
11	1	4	0	0	1	4		
12	4	17	1	1	5	18		
1	1	4	0	0	1	4		【個人】 荒引貞雄 伊藤蘭子
2	1	4	0	0	1	4		
3	1	4	0	0	1	4		
計	18	72	3	3	21	75		

6. 年間行事 ()は参加者数

月	内 容
4	いちご狩り外出(32)
5	いちご狩り外出(8)
6	料理レク「いももち作り」(25) 川本南小2年生町探検(27) 荒引貞雄ギター演奏・太鼓演舞(27)
7	料理レク「フライ作り」(26) 夏季限定ドリンクバー
8	夏季限定ドリンクバー
9	敬老会 9/8~9/12 5日間(160) 尺八演奏 童謡わらべ歌 八木節の会 荒引貞雄ギター演奏・太鼓演舞
10	
11	すずかけ昼食交流会(9)
12	歳末感謝祭 12/15~12/16 5日間(126) ピリ辛兄弟 伊藤蘭子 童謡わらべ歌 ブルーアイランダーズ 歌謡ショー(24)
1	書き初め 1/4~1/9(139)
2	節分豆まき(22) バレンタインチョコ作り(12)
3	料理レク「マシュマロ春巻き作り」(10) じゃがいも植え(12)
毎月	朗読クラブ

7. 業務報告

月	内 容
4	職員：勤務開始 年間行事検討（前期担当者）
5	安全対策勉強会「送迎時における緊急対応」
6	総合防災訓練（地震・避難・消火） 接遇勉強会「電話対応について」
7	安全対策勉強会「異物が詰まったときの対応」
8	ケース記録記入時間の見直し 個別ケア活動内容検討
9	実地指導 年間行事検討（後期担当者） B C P 訓練
10	職員：勤務開始 個別援助取りまとめ方法の変更開始 個別ケア活動内容検討
11	認知症介護勉強会 嘱託医苑内研修：感染症について
12	夜間通報訓練 ケース記録書式変更検討
1	デイサービス満足度調査実施 認知症介護勉強会：周辺症状の理解
2	デイサービス満足度調査集計・まとめ 個別ケア活動内容検討 認知症介護勉強会：B S 法の活用
3	ケース記録書式変更 ケース記録記入時間の見直し
毎月	ケース会議・給食会議・運営会議 安全対策委員会・接遇検討委員会 デイサービス会議

8 . 利用者状況

平成 27 年度に関する以外は、平成 28 年 4 月 1 日現在にて表示

(1) 利用者数

登録者 76 名 (男性 13 名、女性 63 名)

(2) 利用者年齢別状況

年齢	~ 59	60 ~ 64	65 ~ 69	70 ~ 74	75 ~ 79	80 ~ 84	85 ~ 89	90 ~ 94	95 ~ 99	100 ~	計
男性	1	0	1	0	2	2	5	2	0	0	13
女性	0	0	1	2	6	10	25	17	2	0	63
計	1	0	2	2	8	12	30	19	2	0	76

(3) 要介護度

平均支援度 1.25 平均介護度 2.5

区分	自立	支援	支援	介護 1	介護 2	介護 3	介護 4	介護 5	計
男性	0	0	0	3	5	3	1	1	13
女性	0	7	9	13	21	7	1	5	63
計	0	7	9	16	26	10	2	6	76

(4) 利用事由 (重複あり)

	男性	女性	計
日中独居	2	32	34
家庭での入浴困難	8	29	37
独り暮らし	0	7	7
他者との交流	11	23	34
介護者の負担軽減	4	20	24
心身の機能維持	9	26	35
認知症の進行予防	4	30	34
計	38	167	205

(5) サービス開始・終了者

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
開始	3	2	3	3	1	1	0	1	0	3	4	20	41
終了	1	1	0	1	7	3	0	0	1	0	18	0	32

2月終了者については、介護予防通所介護対象者を含む

3月開始者については、日常生活支援総合事業対象者を含む

(6) 月間利用実績

(前期) 4月～9月

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計
登録者数	72	72	73	76	76	75	-
延利用者数	618	620	635	697	665	677	3,912
(予 防)	93	77	81	93	79	98	521
(介 護)	525	543	554	604	586	579	3,391
運営日数	26	26	26	27	26	26	157
1日平均利用者数	23.8	23.8	24.4	25.8	25.6	26.0	-
昼食提供数	605	607	622	683	652	664	3,833
送迎回数	1,124	1,126	1,146	1,286	1,208	1,298	7,188
入浴回数	439	482	496	545	542	523	3,027

(後期) 10月～3月

区 分	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総合計
登録者数	73	70	69	71	74	75	-
延利用者数	686	612	579	553	589	664	7,595
(予防・総合事業)	93	81	72	72	81	97	1,017
(介 護)	593	531	507	481	508	567	6,578
運営日数	27	25	24	24	25	27	309
1日平均利用者数	25.4	24.5	24.1	23.0	23.6	24.6	24.6
昼食提供数	674	598	566	542	576	651	7,440
送迎回数	1,324	1,198	1,126	1,079	1,143	1,316	14,374
入浴回数	589	481	461	445	465	516	5,984

(7) 地域別登録者

地区	深 谷 市									熊谷	寄居	計
	本田	畠山	田中	長在	瀬山	菅沼	明戸	黒田	永田			
男	8	3	1	0	0	0	0	0	0	0	1	13
女	26	14	2	8	1	3	1	1	2	1	4	63
計	34	17	3	8	1	3	1	1	2	1	5	76

清風苑在宅介護支援センター（居宅介護支援事業者）
深谷市在宅介護支援センター清風苑（在宅介護支援センター）

1. 総評

法令を守りながら、居宅介護支援の業務を継続し、平成27年4月より大幅な介護保険の法改正が行われました。当初、居宅介護支援集中減算の変更について4月と話がありましたが、5月の集団指導で9月より変更となりました。今までとは異なり、対象サービスも3種類から全てのサービスへ対象が広がり、90%から80%と枠が狭くなりました。より一層中立公正を求められることになり同時に特定事業所加算を算定することで、この数字に対しては過敏に反応しなければならない状態でした。短期入所については特養清風苑のみと偏ったサービス利用だったため、修正をかけることが困難でしたが、他事業所の利用について、利用者家族からの理解も得られるよう調整しながら進めることができました。

全体の評価としては、介護教室を継続できたこと、教室の参加者家族からの相談やポスティングを行うことで新規利用者獲得に繋がっていること、特定事業所加算の算定も含め、週に1度の利用者情報サービス連携会議を行うことで情報の共有がでやすくなったことが収穫でした。

平成27年10月の人事異動で職員が4名から3名になり、一部の利用者を引き継ぎ支援しましたが、年に一度のケアマネアンケートを行ったことで、不信感を持っている方、不安に思っている方がいることに気付きました。早速、職員に周知して反省のもと再度信頼関係を築いていけるよう、取り組んでおりますが、今後とも利用者・ご家族との信頼関係を第一にわかりやすく、丁寧に安心してもらえるよう支援の実施に努めたいと思います。

2. 業務目標・各会議・委員会報告

(1) 業務目標

『地域との関係づくりを強化する』

地域包括支援センターとの連携において、地域ケア会議を開催し、地域の課題を含めた困難

ケースの対応に取り組むことで、ケースに対して資質向上に努めることができました。

介護者教室を継続することで地域の住民との関係作りができたことや、深谷市ケアマネ連絡会や地域包括主催のケアマネ交流会の参加で他事業所ケアマネとの交流も増えています。他職種協働で意見が求められるようお互いが資質を高められる環境ができております。

利用者情報サービス連携会議を1年間通して、ケースに対して情報の共有がしやすくなりました。特定事業所加算の算定を行うことを含め継続していきます。

(2) 各会議

事業所内全体会議

月に一度の会議を開催し、運営会議で決定した事項を周知し支援センターの運営に盛り込むことができました。

主治医との会議

月に一度、主治医とのやりとりで地域の情報提供や、担当している利用者の情報を共有することで、連携を図りながら支援を進めることができました。各利用者の進捗を追いながら主治医との連携が取れており、利用者、家族からも安心してお任せできる言葉葉をいただいております。これを継続していきます。

事業所内事例検討会

今年度の事例検討会は他ケアマネ事業所へ出向いて、検討会を開催し意見をもらうことができました。今後は地域の課題について地域ケア会議の参加、新規困難ケースは職員同士意見をもらえる機会として事例検討会と分けて取り組んでいきたいと思っております。

3. 研修・会議の参加状況（参加日・研修会議名（主催：参加者））

27. 5.18 平成 27 年度第 1 回介護予防ケアマネジメント研修（県福祉課： ）
5.19 集団指導（県福祉課： ）
5.21 深谷市介護支援専門員連絡協議会（ 、 、 ）
6.4 平成 27 年度在宅医療研修会（県福祉課、医師会： ）
6.11 深谷市南地区介護支援専門員交流会（ 、 、 ）
6.12 平成 27 年度第 2 回深谷市主任介護支援専門員部会
（深谷市介護支援専門員連絡協議会： ）
7.21 深谷市介護支援専門員連絡協議会（ 、 、 ）
9.15 深谷市介護支援専門員連絡協議会（ 、 、 ）
10.9 深谷市初任者向け研修（深谷市介護支援専門員連絡協議会： ）
11.13 エフビー介護講習会（エフビ介護サービス： 、 ）
11.17 深谷市介護支援専門員連絡協議会（ 、 、 ）
11.27 平成 27 年度ケアマネジャー支援研修会（大里広域地域包括支援センター： ）
28. 1.19 深谷市介護支援専門員連絡協議会（ 、 、 ）
2.12 平成 27 年度第 5 回深谷市主任介護支援専門員部会
（深谷市介護支援専門員連絡協議会： ）
3.15 深谷市介護支援専門員連絡協議会（ 、 、 ）

4. 業務報告

（1）介護教室開催

日 時 平成 27 年 7 月 15 日(水) 14 時から 15 時 30 まで
開催場所 深谷市在宅介護支援センター清風苑
参加人数 18 名
参加者詳細 地域の住民 16 名
地域包括支援センターふじさわ苑 2 名
支援職員 4 名
「自宅でできるリハビリについて」
講師 デイリハセンターうちりハ深谷
理学療法士 小倉 康彰氏

5 . 利用者状況

(1) 相談・新規居宅依頼・終了者の状況

(入院者は除く)

月	相談件数	居宅依頼総数	居宅終了者
4月	3件	1件(男性0名・女性1名)	3名
5月	2件	1件(男性0名・女性1名)	3名
6月	10件	2件(男性1名・女性1名)	0名
7月	6件	4件(男性1名・女性3名)	1名
8月	3件	2件(男性1名・女性1名)	11名
9月	1件	1件(男性1名・女性0名)	1名
10月	1件	0件(男性0名・女性0名)	2名
11月	1件	1件(男性1名・女性0名)	1名
12月	3件	1件(男性1名・女性0名)	1名
1月	3件	1件(男性1名・女性0名)	1名
2月	8件	1件(男性0名・女性1名)	2名
3月	8件	2件(男性0名・女性2名)	0名

平成28年3月31日現在

(2) 年間居宅請求数

(月遅れ請求者も含む)

	介護給付	予防給付	認定調査
4月	95件	27件	14件
5月	90件	27件	16件
6月	96件	26件	16件
7月	95件	29件	19件
8月	98件	21件	8件
9月	91件	21件	12件
10月	89件	20件	16件
11月	88件	20件	12件
12月	86件	19件	16件
1月	82件	20件	13件
2月	79件	20件	18件
3月	83件	22件	19件
合計	1,072件	272件	179件

平成28年3月31日現在

(3) 利用者年齢別状況

区分	2号 被保険者		1号被保険者								合計
	60歳 未満	60～ 64歳	65～ 69歳	70～ 74歳	75～ 79歳	80～ 84歳	85～ 89歳	90～ 94歳	95～ 99歳	100 歳～	
男性	2	1	3	2	9	6	15	3	1	1	43
女性	0	0	2	3	16	19	18	28	7	1	94
合計	2	1	5	5	25	25	33	31	8	2	137

平成28年3月31日現在

(4) 月別・介護度別利用者数(暫定利用者含む)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
支1	12	12	10	9	6	6	6	6	6	6	5	7	91
支2	17	18	17	22	15	15	14	14	13	14	16	16	191
介1	32	34	35	37	37	33	32	29	33	33	30	31	396
介2	27	24	27	25	27	25	25	27	27	26	27	29	316
介3	17	14	15	10	9	8	11	11	11	7	7	8	128
介4	11	12	13	14	14	14	11	11	8	7	6	6	127
介5	8	6	7	9	11	12	10	10	8	9	9	9	108
合計	124	120	124	126	119	113	109	108	106	102	100	106	1357

(5) 介護度別・サービス種別利用者数(一部重複者あり)

区分	訪問 介護	訪問 看護	訪問 入浴	訪問 リハ	通所 介護	通所 リハ	短期 介護	短期 療養	福祉 用具	合計
支1	0	0	0	0	5	0	0	0	2	7
支2	0	0	0	0	13	0	0	0	8	21
介1	5	2	1	0	24	5	3	0	11	51
介2	2	1	0	0	24	1	5	0	20	53
介3	1	0	0	0	7	0	0	0	7	15
介4	0	1	1	0	3	0	1	0	5	11
介5	0	2	0	0	7	1	3	0	8	21
合計	8	6	2	0	83	7	12	0	61	179

平成28年3月31日現在

グループホームすずかけ (（介護予防）認知症対応型共同生活介護)

1. 総評

平成27年度は定期人事異動やベテラン職員の定年退職等もあり、すずかけにとって入れ替わりのある一年となりました。その中でも新人職員の新しい風が入り、レクリエーションの充実や行事、イベントでは趣向を凝らしたものが提供出来ました。しかし利用者の生活や職員が利用者との時間を共有すること等が不十分であったと感じています。この件に関しては平成28年度でも優先事項と考え、リーダー、サブリーダーを中心に発信していきます。

2. サービス目標・各会議・委員会報告

(1) サービス目標報告

職員間の連携

職員の連携やチームワークは報（報告）連（連絡）相（相談）を通じてしっかりと取れていました。記録での利用者情報の共有や振り返りシートを活用しての個人面談等で職員一人ひとりの考えを聞ける良い機会となり、今後も継続していきます。

利用者の環境について

観察し、その様子をしっかりとケース記録に残し、その情報を職員が閲覧し状況を把握することは定着しています。今後の課題としては特記事項の無かった方の様子の詳細な記録を残すことが課題としてありますので、記録の充実は今後も継続課題としていきます。またケアプランの内容向上の為、モニタリングシートを導入し、課題の抽出や目標達成状況も会議内で報告することで、タイムリーなプランの見直しが出来ようになりました。

活動的な生活作り

出来る事を見守ることや散歩で外に出る事は一年を通じて定着してきています。また法人内での交流や地域の方々との交流も行事を通じて、少しずつ実施出来ています。しかしながらその本質をまだ理解しきれずにいるせいか、イベントや行事に偏ってしまいました。そこで、自宅で暮らす高齢者を職員共通の具体的なイメージとして、買い物、洗濯、掃除等生活する上で当たり前の日常を送れるように、職員は見守ることを第一に考えていきます。

事故防止について

少数職員のメリットを活かし、月1回よりも常に共有することができるので、平成27年度の11月から安全対策委員会を廃止し、日々の振り返りを中心に会議内での確認をしてきました。今年度も様々な事故、ヒヤリハットがありました。骨折等の事故はなかったものの、同一利用者による「無断外出」の事故が複数回あり、その内の一つには近所の方の通報で警察が保護をする事例がありました。本人が無事であったことが何よりでしたが、職員全員で再発防止策や日々の申し送りでの本人のその日の様子の情報共有を図っています。起きてしまうであろう事故に対し、未然に防げるよう予見が出来る様にしていき、重大な事故にならないようにしていきます。

その他

リーダー、サブリーダーの定期人事異動が行われ一年が経過しました。「食事交流会」や「県外への外出」等、初めての試みを積極的にチャレンジし、反省点も見えてきました。今後もみかえりぐせをもって失敗を恐れず、利用者の活動的な日常や季節の行事に取り組んでいきます。

(2) 各会議報告

グループホーム会議

毎月1回実施し、各委員会報告やモニタリング発表、次月の行事の確認を主に行ってきました。事前資料を配布して会議を円滑に進める為の策は講じてきましたが、時間だけが経過して、要点を押さえた話し合いとしてはまだまだ不十分であったと感じています。その中でもモニタリング発表に関しては各職員に担当利用者を付け、発表し、ケアプランに反映させることが出来、ケアプランの充実が図れました。今後の課題として議題に沿った話し合いと要点を押さえた進行をして、スリムで内容のある会議をしていきます。

運営推進会議

行事後や避難訓練後等に実施してきました。避難訓練に関しては、初めて地域の方々やご家族を交えて実施しました。その後の運営推進会議において、地域の方々から災害時の連絡方法として、自動通報装置に登録をして頂ける方が複数名乗り出て下さり、地域とのつながりや協力体制の確認が出来ました。一年を通じてあまり参加出来ないご家族や毎回出席して下さるご家族など会議ごとに出席する顔ぶれは様々でした。その中でご家族からの要望や意見がたくさん挙がる時や全く要望や意見が挙がらない事もありました。今後の課題として発言しやすい雰囲気作りや問題提議の仕方を工夫して、ご家族からの意見を引き出していけるような場にしていき、会議という堅いイメージを払拭していけるようにします。

(3) 各委員会報告

安全対策委員会

事故、ヒヤリハットの検証と夜間の連絡整備やマニュアルの作成を行ってきました。その中で月に1回の委員会では迅速な再発防止が出来なかつたりしていました。そこで日々の申し送り等で事故、ヒヤリハットの検証作業や再発防止策の周知を図っていく為、11月をもって安全対策委員会は廃止としています。

生活向上委員会

新たに「生活」の面に特化した委員会として発足しました。委員会で発信したことは日々の業務の見直しやデイサービスの利用者さんを招いての「昼食交流会」、職員による「他施設への一日研修」を計画し、実施してきました。結果としてイベント事に偏りがあり、「利用者の生活」というメインテーマが疎かになってしまいました。この反省点を踏まえ今後は「利用者の生活の質の向上」を優先事項として委員会活動を行っていきます。

3. 研修・会議の参加状況(参加日・研修会議名(主催:参加者))

- 27. 6.19 記念講演会「虐待と不適切なケア」(県グループホーム協会:)
- 10.17 外部研修(グループホーム野の花:)
- 11. 9 レクリエーション研修(県社協:)
- 11.23 外部研修(グループホームあかつき:)
- 11.18 福祉職員のためのターミナル研修(県社協:)

4. 研修・実習者受け入れ

今年度は受け入れなし

5. ボランティア受け入れ

	団体		個人		合計		
	延件数	延人数	延件数	延人数	延件数	延人数	
4	1	7	2	2	3	9	【深谷市】 コーラスさくらそう、 いなほ会 川本南小学校 川本中学校 <個人>
5	1	12	0	0	1	12	
6	1	32	0	0	1	32	
7	0	0	0	0	0	0	
8	0	0	0	0	0	0	【深谷市】 藤野様 ぴりから兄妹様 吉田文江様
9	0	0	1	3	1	3	
10	0	0	0	0	0	0	
11	0	0	0	0	0	0	
12	3	29	2	4	5	33	
1	0	0	1	1	1	1	
2	0	0	0	0	0	0	
3	0	0	0	0	0	0	
計	6	80	6	10	12	90	

6. 年間行事 ()は参加者数

月	内 容
4	4/5 お花見会 (32)・第32回運営推進会議 (9) 4/6 お花見ドライブ (7) 4/15 いちご狩り (15)
5	5/11 日帰り旅行：ポピー花見と川幅うどん (12)
6	6/17 総合防災訓練 (12) 6/27 第33回運営推進会議 (10)
7	7/2 日帰り旅行：あじさい寺と聖天様 (11) 7/7 七夕まんじゅう作り (12)
8	8/31 すずかけ花火大会 (12)
9	9/3 ぶどう狩り (11) 9/16BCP 訓練 (12) 9/19 敬老会 (30)・第34回運営推進会議 (8) 9/27 十五夜饅頭作り (11)
10	10/30 運動会(12) 10/30 第35回運営推進会議 (10)
11	11/6 日帰り旅行：群馬サファリパーク (1班)(8) 11/13 日帰り旅行：群馬サファリパーク (2班)(6)
12	12/12 忘年会 (31)・第36回運営推進会議 (10) 12/17 夜間通報訓練 12/24 クリスマス会 (16)
1	1/4 初詣・外食 (寄居・極楽寺)(11)
2	2/3 節分 2/25 防災訓練・第37回運営推進会議 (11)
3	3/3 ひな祭り 3/17 いちご狩り (1班)(9)
毎月	誕生会

7. 業務報告

月	内 容
4	4/4 生活向上委員会、4/9 入所検討委員会、4/18 安全対策委員会 4/23 床ワックス、4/20 出張美容、4/22 グル - プホーム会議
5	5/8 生活向上委員会 5/9 安全対策委員会、5/20 消防設備点検 5/20 グループホーム会議
6	6/9 安全対策委員会、6/10 利用者健康診断、6/11 生活向上委員会 6/15 出張美容、6/19 グループホーム会議
7	7/4 生活向上委員会、7/10 安全対策委員会 7/17 グル - プホーム会議
8	空床状況、すずかけニュース送付 8/4 出張美容、8/11 生活向上委員会、8/14 安全対策委員会 8/20 床ワックス、8/21 グル - プホーム会議
9	9/8 安全対策委員会 9/11 生活向上委員会 9/18 グループホーム会議
10	10/8 生活向上委員会、10/15 安全対策委員会 10/19 出張美容、10/19 グル - プホーム会議
11	11/10 安全対策委員会、11/11 消防設備点検、11/13 生活向上委員会 11/19 床ワックス全箇所、11/20 グル - プホーム会議
12	12/11 生活向上委員会 12/21 出張美容 12/22 グループホーム会議
1	1/15 生活向上委員会 1/26 グループホーム会議
2	2/9 居宅回り 2/10 生活向上委員会、2/15 出張美容、2/23 入所検討委員会 2/23 グループホーム会議、2/25 防災訓練
3	3/10 生活向上委員会
備 考	不定期：居宅介護支援事業所、老健事業所、病院合計 42 ヶ所入居者空床、待機 情報案内書、すずかけ新聞郵送。

8. 利用者状況 <平成27年度に関する以外は平成28年4月1日現在にて表示>

(1) 利用者定員及び現在員状況

定員9名 現在員9名(男性2名 女性7名)

(2) 利用者年齢別状況

年齢	60 ~64	65 ~69	70 ~74	75 ~79	80 ~84	85 ~89	90 ~94	95 ~99	100 ~104	計
男性	0	0	0	1	0	0	1	0	0	2
女性	0	0	1	0	1	1	1	2	1	7
計	0	0	1	1	1	1	2	2	1	9

*最高年齢 女性100歳5ヶ月

*最若年齢 男性73歳10ヶ月

*平均年齢 88.0歳

(3) 入所申込状況(入所検討委員会)

年月	件数	年月	件数
平成27年4月	1	10月	0
5月	0	11月	0
6月	0	12月	0
7月	0	平成28年 1月	0
8月	0	2月	3
9月	0	3月	0

(4) 利用期間

利用期間	男	女	計
3ヵ月未満	0	0	0
6ヵ月未満	0	0	0
1年未満	0	1	1
2年未満	0	2	2
2年以上	2	4	6
計	2	7	9

(5) 月別利用者状況

年間利用率 99.2%

区分	月												計
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
月初日利用者数 (在籍)A	8	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	107
月中新利用者数 B	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
月中退所者数 C	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
月中入院者数 D	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
月末入院者数 E	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
月末日利用者数 (実数)F=A+B-C	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	108
延べ利用者数	244	279	270	279	279	270	279	270	279	279	261	279	3,268

(6) 市町村別入退所者状況

市町村	平成 28 年 4 月 1 日現在			平成 27 年度			入院・入所・退所状況
	男	女	計	入院 延数	入所 者数	退所 者数	
深谷市	1	6	7	0	1	0	(入) 4/27
熊谷市	0	1	1	0	0	0	
寄居町	1	0	1	0	0	0	
計	2	7	9	0	1	0	

(7) 利用者の心身状況

日常生活動作

介助項目区分	自立	一部介助	全介助
移動介助	3	3	3
食事介助	4	4	1
排泄介助	0	6	3
入浴介助	3	3	3
着替え介助	1	5	3
体位交換介助	4	2	3

心身状況

認知症老人の 日常生活自立度	自立			a	b		a	b		M
	0	0	1	0	0	4	0	0	4	0

(8) 要介護度

* 平均介護度 3.1

要介護区分	支援 2	介護 1	介護 2	介護 3	介護 4	介護 5	計
男性	0	1	0	1	0	0	2
女性	0	1	0	2	3	1	7
計	0	2	0	3	3	1	9

生計困難者に対する相談支援事業

1. 総評

「彩の国あんしんセーフティネット」事業が施行され2年目を迎えております。

開始当初に比べ、制度の認知度も上がり、お金をもらえる制度と誤解される方も少なくなりました。また、各機関の連携もスムーズになり、開始当初の相談が入ると内容はともかくセーフティネットへ繋いでしまい生活困窮者支援がスムーズに進まない事も少なくなってきました。9月からは、記録管理がインターネット上で管理できるようになり、情報の共有やスムーズな報告ができるようになり制度の構築も徐々に進んでおります。

支援方法も状況だけでなく、個々の改善意欲や生活スタイル等の内面的な把握により、本人への関わり方や現物支援もその後の生活改善に繋がらなければ支援を行わず、行政に返すなど柔軟な連携や対応が可能となっております。

尚、生計困難者の特徴として社会から孤立している方が多いため、支援後も一定期間関係を持ち精神的な支えになって行く事も重要になっております。

2. 相談状況（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

(1) 年齢構成・相談件数

年 齢	人 数
20～30歳代	0
40～50歳代	1
60～70歳代	2
80歳～	0
合 計	3

(2) 紹介経路

紹 介 先	人 数
行政・社協・市町村	3
地域包括・医療・福祉施設・	0
民生委員・知人	0
本人	0
合 計	3

(3) 相談内容の主な特徴（重複あり）

特 徴	人 数
高齢	1
失業	3
児童	0
母子・寡婦	0
身体・知的・精神障害	1
DV・虐待	0
多重債務	0
傷病	0
その他	0

(4) 現物給付の主な内容(重複あり)

内 容	人 数
食材	2
光熱水費	0
居住関係	0
日用品費	0
交通費	0
医療費	0
介護サービス	0
その他	1

3. 研修・会議の参加状況(参加日・研修会議名(主催:参加者))

- 27.8.11 彩の国あんしんセーフティネット事業第3ブロック会議
(埼玉県社会福祉協議会:)
- 28.2.18 彩の国あんしんセーフティネット事業第3ブロック会議
(埼玉県社会福祉協議会:)

事 務

1. 総評

基幹的業務である法人事務、財務会計処理、職員給与計算、職員福利厚生や介護保険制度改正等の手続きを柱に取組みを行ないました。具体的には前段の庶務事項や以下の事務処理となっています。今後も会計処理を迅速かつ正確に示すと共に事務部門の効率化と各事業所の円滑な事業運営に貢献してまいります。

また、平成 27 年 8 月から事務の体制が 3 名になり、業務分担変更を行い、事務業務の遂行が安定してきました。

2. 業務目標

平成 26 年度新会計基準の会計処理と財務管理、決算処理は支障なく遂行できました。

事業継続計画(BCP)については、運用開始し 9 月に訓練を実施しました。

マイナンバー制度の開始準備を行い、混乱なく運用を開始しました。

3. 研修・会議の参加状況(参加日・研修会議名(主催:参加者))

- 27. 4.17 施設長会議(県老施協:)
- 5.27 安全運転管理者講習(県安全運転管理者協会:)
- 6.11 新会計基準対応版財務会計システム「基礎操作編」(CIJ 東京本社:)
- 7. 2 危険物取扱保安講習会(県危険物安全協会:)
- 7. 7 事務講習会(マイナンバー制度対応)(熊谷社会保険委員会:)
- 7.17 マイナンバー制度の基礎知識と実務(埼玉のぞみの園:)
- 7.21 埼玉の老人福祉を考える会「介護保険制度後の加算状況について」
(埼玉の老人福祉を考える会:)
- 7.30 県老施協児玉・大里支部合同研修会(県老施協大里支部:)
- 8.31 事務員研修会 マイナンバー制度(県老施協:)
- 8.31 社会福祉法人監査研修(県社協: 、)
- 9. 2 施設長会議(県老施協:)
- 9.10 給与計算システム「基礎操作編」(CIJ 東京本社:)
- 9.15 熊谷支部・寄居支部合同事務講習会(熊谷社会保険委員会:)
- 9.25 財務管理研修(県社協:)
- 10. 2 マイナンバー制度セミナー(県共助会:)
- 10.19 高齢者虐待防止研修(県:)
- 11.18 年末調整説明会(熊谷税務署:)
- 11.24 年金委員・健康保険委員研修会(熊谷社会保険委員会:)
- 12. 7 老施協大里支部(県老施協:)
- 12.10 共助会事務説明会(県共助会:)
- 12.10 退職手当共済制度実務研修(県社協:)
- 12.13 マイナンバー制度研修(県社協: 、)
- 12.14 社会福祉法人制度改革対応セミナー(県経営協: 、)
- 28. 1.12、13、22 施設等運営管理者養成研修(県社協:)
- 1.21 第 2 回施設長会議(県老施協:)
- 2. 2 社会福祉法人管理者研修(県: 、)
- 3. 2 マイナンバー制度研修(県社協:)
- 3. 9 第 2 回社会福祉法人制度改革対応セミナー(県経営協: 、)

給 食

1. 総評

給食部では平成 27 年度事業計画として安心・安全・発展・連携と 4 つの業務目標を立てました。来年度の事業計画に向け 1 つずつ振り返っていきたいと思います。

まず 1 つ目は「安心」ですが栄養ケア・マネジメント体制を導入し、利用者様の身体状況等の把握を行えるようになりました。利用者様一人一人に合わせた食事の提供が可能となり、安心して召し上がっていただける食事が提供できるようになりました。

2 つ目の「安全」ですが食材の検収、保管、調理、検食の保存、調理器具の管理、検便の実施等の衛生管理についてマニュアルを用いて厨房職員への周知の徹底を行いました。また、食中毒やノロウイルス、インフルエンザ等の危険性を周知させ厨房内に菌を持ち込まない対策を行いました。

3 つ目の「発展」ですが給食会議で指摘された事項について再度検討を行い改善してまいりました。また、行事食については担当職員と打ち合わせを行い利用者様の嗜好を重視し、季節感のあるメニューの提供を実施してきました。

4 つ目は「連携」です。給食委託会社が㈱LEOC から日清医療食品株式会社に切り替えられました。まだ半年ほどではありますが日清医療食品と協力し利用者様に喜ばれる、美味しい食事を提供していきたいです。

2. 業務目標

月	基 幹 業 務 内 容	調 査	会 議
4	利用者年齢構成表作成 納入業者の衛生教育及び食品搬入検査	嗜好調査	給食・厨房会議
5	厨房周りの環境美化	残食調査	〃
6	食中毒予防強化 厨房内特別個所掃除及び機会器具の点検	温度湿度調査	〃
7	夏期利用者帰省の確認	残食調査	〃
8	厨房周りの環境美化	残食調査	〃
9	行事食献立内容の研究	残食調査	〃
10	利用者年齢構成表確認	嗜好調査	〃
11	ノロウイルス、インフルエンザ感染症対策強化	残食調査	〃
12	年未年始利用者帰省の確認 納入業者年未年始休業確認	残食調査	〃
1	厨房内特別個所掃除及び機械器具の点検	温度調査	〃
2	厨房周りの環境美化	残食調査	〃
3	食糧構成の検討 新年度業務計画の作成	残食調査	〃

3. 研修・会議の参加状況（参加日・研修会議名（主催：参加者）

- 27.11.7 栄養ケア・マネジメント(NCM)を知ろう!の会 in 前橋(療食サービス:)
- 28.1.27 メディケアフーズ展 2016(UBM メディア株式会社:)
- 28.2.8 栄養士・調理員研修会 (埼玉県老人福祉施設協議会:)
- 28.2.26 平成 27 年度 地域栄養ケア研修会(埼玉県栄養士会:)
- 28.3.8 平成 27 年度 摂食・嚥下研修会(埼玉県熊谷保健所:)